今号の主な内容

2面 区長が区議会で所信を表明 主要な基本政策の概要

3面 防災とボランティア週間 シンポジウム・耐震フォーラム

4・5面 あなたのまちの民生委員・児童委員

6面 過去の病気ではない結核

8面 年末年始の資源・ごみ収集、区役所の業務

広報しんじゅく

「新宿力」で創造する、やすらぎとにぎわいのまち

平成22年(2010年) 12・15 第1980号

しんじゅくコール ☎(3209)9999 (午前8時～午後10時、1/1～3を除く毎日)

発行 新宿区 編集 区政情報課 (毎月5・15・25日発行)
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎(3209)1111
ホームページ http://www.city.shinjuku.lg.jp/
携帯電話版 http://www.city.shinjuku.lg.jp/m/
携帯電話用二次元コード

中山区長が区議会で所信を表明

中山弘子区長は、11月24日、平成22年第4回新宿区議会定例会において、3期目の区長就任にあたり、これからの区政運営について所信を表明しました。

今回は、その概要をお知らせします。所信表明の要旨は、新宿区ホームページでご覧いただけます。

【問合せ】企画政策課(本庁舎3階)☎(5273)3502へ。

この度の選挙を通して、私は、多くの区民の皆様のさまざまな声を聞き、改めて、区政に対する期待の大きさを強く感じました。区政を担う責任の重さを深く認識するとともに、これからも常に区民の視点、生活者の視点から区政の課題を捉え、区民の皆様とともに区政運営にあたってまいります。そして、この困難で不透明な時代にあって区民の皆様の区政に対する期待に応え、新宿区の未来を切り拓き希望のあるものとしていくことが私の使命であると決意を新たにしています。

私は、この度の選挙において、区民の皆様に「暮らしやすさも賑わいも一番のまち新宿をみんなで創りましょう!」と訴えてきました。そして、「区政に対する取り組みの原点」と「区政運営における3つの基本姿勢」をお示しするとともに、新宿のまちを創るための「5つの視点」と「15の基本政策」およびそれを実現するための「70の施策」をお示ししました。

これは、私の区民の皆様との約束であり、区民の皆様から信託を受けた公約です。私は、今後4年間、全力を挙げてその実現に努めてまいります。

さて、現在のわが国の経済情勢は、高い失業率、円高やデフレの進行による景気の低迷など、大変厳しい状況が続いています。

また、急速に進展する少子高齢社会を迎え、社会構造が大きく変化する中で、増大する社会保障経費などへの確実な対応も求められています。

さらに、地方分権、地域主権の流れが加速する中、区民に最も身近な基礎自治体である区が果たすべき役割は一層重要になっています。

このような状況を踏まえ、私は、地域を基盤に、福祉・経済・環境などの各面におけるさまざまな営みを融合して発展させていくことにより、地域で暮らす人々すべてが夢と希望を持てる地域社会を実現していきたいと考えています。

そのためには、私がマニフェストでお示しした施策に加え、区民生活が直面する喫緊の課題に的確に対応するとともに、議会ならびに区民の皆様のご意見をいただきながら、中長期的な視点で、将来にわたって、持続可能な区政の展開に努めてまいります。

所信を表明する中山区長

こうした視点から、まず、私の区政への取り組みの原点として2点申し上げます。

区政への取り組みの原点

協働・参画で切り拓く「自治のまち新宿」

いま、時代は転換期にあります。少子高齢・人口減少社会が到来し、支え手が減少する中、現在の社会制度や仕組みのままでは、国も自治体も将来にわたって持続することはできません。中央集権の画一的な国のかたちを改め、一人一人が当事者となって知恵を出し合い、責任を持って地域運営を行っていく、みんなで社会を担う共生・協働の分権型社会を築くことが必要です。

私は、区民の皆様とともに、一番身近な区政から、心豊かな支え合いの「自治のまち新宿」を創りたいと思います。

新宿のまちの多様性・多文化共生で切り拓く「持続可能な都市新宿」

新宿のまちは、江戸時代以来、人々の往来・交流の拠点となった歴史と伝統を持ち、常に時代の先端を走ってきました。そうした新宿のキーワードは「多様性・多文化共生」です。この「多様性・多文化共生」は社会を豊かにする力であり、また、さまざまな特性を認め合う懐の深い大きな力でもあります。この「多様性・多文化共生」こそ、新宿のまちが抱える多くの課題に取り組むための力になります。

私は、新宿に息づく「多様性・多文化共生」を力に、区民の皆様とともに、「持続可能な都市新宿」を創り上げていきたいと考えています。

歴史的価値を次世代に継承します
玉川上水・内藤新宿分水散歩道

私は、このような区政への取り組みの原点を基本に据えて、引き続き、次の3つの基本姿勢で、区政を運営してまいります。

区政運営における3つの基本姿勢

現場現実を重視した柔軟かつ総合性の高い区政

区は、区民に最も身近な基礎自治体です。区民生活が直面するさまざまな課題の解決に向けて、現場から政策を立案し、総合化して効果的で効率的な区政運営を行います。

公正かつ透明性の高い区政

公正な区政、透明性の高い区政を実現するためには、区政が区民の皆様に開かれたものであることが不可欠です。これまで以上に積極的な区政情報の提供や情報公開を行うことで、公正で透明性の高い区政を実現してまいります。

区民との協働と参画による区政

これからの時代は行政だけが公共サービスを提供するのではなく、区と多様な主体とが協働し、対等な立場で適切に役割を担うことが重要です。区民の皆様の目線で区民の皆様とともに新宿のまちを創り、公共サービスを多様な主体がともに担う協働と参画の区政運営を行います。

主要な基本政策

次に、私が考えている主要な基本政策について申し上げます。

主要な基本政策の概要を2面に掲載しています。

「暮らしやすさも賑わいも一番の自治のまち新宿」の実現

以上、私が向こう4年間、区長として区政を担当するにあたっての基本姿勢等所信の一端を申し上げました。

「暮らしやすさも賑わいも一番の自治のまち新宿」の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。議会ならびに区民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

まちの賑わいや交流を支えます
スポーツもできる大久保公園シアターパーク